



インドネシア人実習生の皆さんから頂いたガルダ（インド神話由来の神聖なる炎鳥）の像。インドネシアでは、国章にも用いられているそうです。

あじけん通信

2014 NOVEMBER

VOL.83

株式会社きぼう国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

11月に入り、暦の上ではもう冬になりましたが、あじけんでは比較的暖かく過ごしやすい日々が続いています。例年のこの時期になるとよく耳にする「さむいです」「せんせい、かぜをひきました」等の言葉も、今年はまだそれほど聞こえてきていません。それでも油断は禁物、季節の変わり目の体調維持は、日本人でも難しいところ。ここで大切になってくるのが、体調の自己管理。この「自己管理能力」は、これから日本で1年～3年間、技能実習生として生活していくことになる実習生の皆さんにとって、日本語能力と同じくらい必要な能力だと、本学院では考えています。今月から、朝の健康チェックでの「体調の自己管理」の呼び掛けが強化開始されています。

あじけんスコープ Vol.27 ～ がまん・がまん！～

まずは、右の写真1をご覧ください。実は、これは最近よく目にする休み時間の光景です。実習生の皆さんのスマートフォン（以下スマホ）等の電子機器の普及率が高まるにつれ、授業（50分間）と授業の合間の10分間（いわゆる休み時間）にスマホでインターネットやゲームに講じる実習生が増え、教務室でも困った問題として話題になっていました。

本来この10分間は、労働基準法で定められた「休憩時間」ではなく、次の授業の準備や自習に当てられるべき時間です。ところが、多くのスマホユーザーの実習生は、まるで中毒にでも懸かっているように、休み時間になったとたん、スマホに没頭し、通りかかった先生への挨拶も忘れてしまうほどです。しかし、実習生の皆さんが、実際の技能実習現場で、これほど頻繁にスマホを使用できるかと言えば、そうではないと思います。そこで、先月号でもお話ししましたが、当学院での日本語学習時間＝勤務時間との考え方から、実習生の皆さんには、日本語講習時間内8:45～17:45（12:45～13:45のお昼休憩を除く）は、スマホの使用を我慢してもらうことになりました。家族への連絡、母国語の音楽鑑賞など事情はそれぞれあるでしょうが、スマホ等の電子機器の使用時間を自ら制限する習慣を身に付けることは、今後日本で社会人として、自律した実習生生活を送っていく上でも、大いに役立つことだと考えております。



今月の実習生



今月の実習生はフィリピンからの実習向かって左から

DE CASTRO PACIFICO JR. RENOSA
(レノさん)

SUAREZ MYRON PORTUGAL
(ロンさん)

PAGUIO JANNO PAYAWAL
(ジャンノさん)

です。彼らが持っているのは、手作り単語カード！作り方は、配られた単語リストのプリントを1つ1つ単語ごとに細かく切り分け、それらを色紙等の台紙に貼り付け、セロテープでコーティング！最後に携帯しやすいように、ピンやリングで束ねて出来上がり！ロンさんのはなんと単語カードをチェーンで束ねた単語カードネックレス！

日本語学習に掛ける熱意と、その器用さには、あっぱれ！です。

あじけん流日本語授業



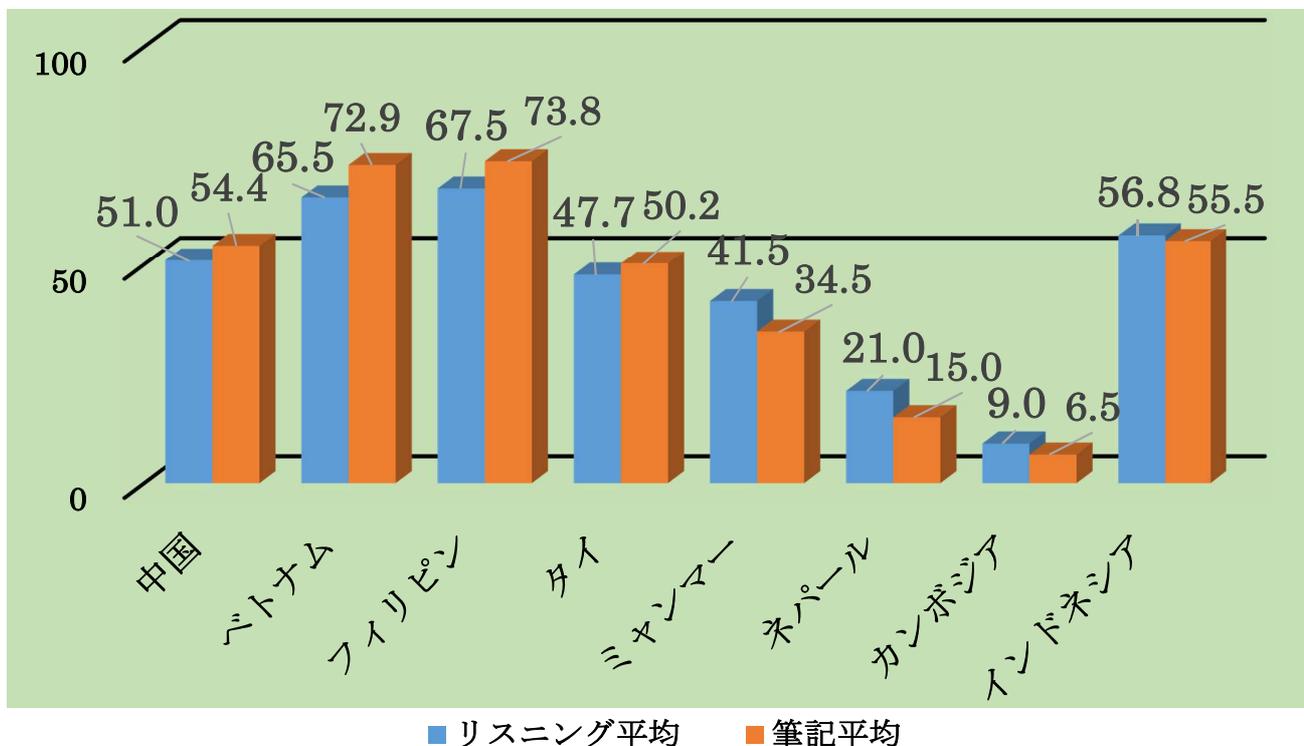
今回のあじけん流日本語授業では、昨年度（平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月）の※レベルチェックテストの結果集計をご報告します。来日前の母国での事前学習がしっかり定着しているか否かは、100 時間という極めて限られた講習期間内で、技能実習を安全かつ円滑に行なうために必要と思われる最低限の日本語コミュニケーション能力を身に付けるためには、非常に重要な位置を占めています。今回の平均得点は、リスニングテストが 57.9 点・筆記テストが 62.2 点。前回の集計（リスニング 59 点・筆記 62 点）とほぼ横ばいの得点で、かろうじて 60 点前後をキープしていますが、理想としては、やはり 7 割～8 割以上正答出来る基礎力の定着が望まれます。

なお、母国での日本語学習期間に差があるため、どの国の実習生が最も基礎力の定着率が高いのか、一概には判断できませんが、参考までに受講生の出身国別平均得点もご紹介させていただきます。

※レベルチェックテスト

リスニングテスト・筆記テストの 2 部構成。どちらも 100 点満点で、出題内容は、基本単語の意味用法、動詞・形容詞の語尾活用（筆記のみ）、簡単な日本語での質問を聞いたり、読んだりして答える形式の応用問題と広範囲。様々な角度から実習生の皆さんの講習開始時の日本語力（基礎力）を測定するための本学院独自のテスト。難易度は日本語初級（前半）のレベルで、テスト結果は、日本語講習の進度や指導内容を決める上での大切な基礎資料として活用されています。

レベルチェックテスト国別平均得点



※ なお、来日前の日本語学習が 1～2 年間半に及ぶ、インターンシップによるホテル実習生の得点は、基礎データから除かれています。

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます